



棗校だより

令和8年度 5月号 No.2 5月19日 発行
福井市棗小中学校 福井市石新保町12-32 TEL 85-1099

校長 勝見 義治

○ 校内体育大会

5月16日(土)に多数の保護者の方の声援の中、子ども達が元気に楽しく競技や応援を繰り広げました。本番での成功はもとより、練習中の上級生のリーダーシップや下級生への優しさも素晴らしいものがありました。応援いただいた皆様、ありがとうございました。



○ 1年生を迎える会

下級生への優しさは、4月30日(木)の「迎える会」でも見られました。1年生に膝をついてマイクを向ける進行役の高学年。「新聞じゃんけん」では、当たり前のように上級生が低学年の子を担いで会の盛り上がりを支えてくれました。棗っ子の優しさは、こうして受け継がれていくことを感じられる会となりました。



○ 棗っ子の根っこ

4月21日(火)には小学校、5月1日(金)には中学校で、今年度1回目の集会が開かれました。それぞれの集会で私が話す時間がありましたので、相田みつをさんの次の詩を紹介しました。

「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ」

私が棗校に赴任して抱いた印象の一つに、校舎内がきれいで整理整頓が行き届いていることがあります。それを花だとするなら、根っこは日頃から、見えないところで黙々と掃除に取り組む全校の姿だろうと子ども達に伝えました。体育大会でも、本番で見られた明るい笑顔や素晴らしい応援の演技は、裏に放課後まで練習を続ける中学生、朝の会で声だしに励む小学生の姿があったからこそです。陰の努力を惜しまず真面目



に取り組む姿こそ棗校の宝です。

6月には小・中とも連合音楽会が控えています。中学生は、体育大会の練習と並行しての練習ともなってきましたが、それを乗り越えた先に、連音の成功以上の大きな花が咲くことでしょう。それに期待しつつ、引き続き子ども達を励ましていきます。



校内体育大会

2026年5月16日(土)



白組テーマ：碧鷹凌空



係の仕事も頑張るぞ！



親子でリレー対決！



お昼はみんなで
お弁当♪



赤組テーマ紅虎奮迅～未来への咆哮～



気持ちよい青空の下、体育大会が行われました。小学生と中学生と一緒に活動する場面も多く、お互いに応援し合いながら、学年を超えた交流を楽しむ様子が見られました。

SCAN ME!



午後からは親子ふれあい種目があり、児童生徒と保護者、教職員が一緒になって楽しみ、会場は終始笑顔に包まれていました。

栗小中学校

